

ようこそ！朝日城の森へ

遊歩道が整備されているので、木や草花を観察しながらめぐってみよう。
天気がいい日はお弁当をもってでかけるのもおすすめ！

1. エゴノキ

果実を口に入れるとえぐい(えごい)ため、この和名が付いたといわれています。果実には魚毒性のサポニンが含まれているため、魚の捕獲に使われたそうです。



2. ユキツバキ

ユキツバキは、豪雪地帯に適応したツバキです。枝がしなりやすいので、雪の布団をかぶって冬を過ごします。



3. ウワミズザクラ

穂状の白い花を咲かせるサクラの仲間。花芽の塩漬は「アンニゴ」として珍重され、熟した実は果実酒に使われます。



ヤマグリ

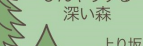
5月から6月に開花します。雄花はクリーム色を帯びた白色で香りが強く、昆虫がよく集まります。9月から10月に成熟する実は、もちろん食べられます。



マップで紹介している花の見どころ一覧は裏面の朝日城の森「花ごよみ」を見てね！



大きなスギの木



探してみよう！

リスやアカネズミの食べあと



落ちているオニグルミやマツボックリをよく見てみると、動物たちが食べたあとが残っています。リスはオニグルミを真っ二つに割り、アカネズミは2カ所に穴をあけて食べます。マツボックリがエビフライのような形に食べられていたら、それはリスが食べたあと。

4. マルバマンサク

葉の先が丸みを帯びている、日本海側に分布するマンサクをマルバマンサクといいます。残雪の山中で最初に花が見られ、「まず咲く」ことからこの和名が付いたといわれています。



大きなスギの木



タヌキがいるよ



キツネがいるよ



シンボルツリー

このあたりにあるのが、森のシンボルツリーとなっている「ヤマナラシ」。ヤナギ科の落葉高木で葉の形状が風にそよぎやすく、カサカサとよく葉音を鳴らすことからこの名がついたそうです。別名の「ハコヤナギ」は、材で箱を作ったことによります。



5. カタクリとギフチョウ

春のはかない命を意味する「スプリングエフェメラル」の代表的な植物のカタクリと、昆虫のギフチョウ。カタクリは他の植物が葉を広げる前に葉を開いて開花。その蜜をギフチョウが吸いに来ます。どちらも晩春には姿を消してしまいます。



6. ミツバアケビ

小葉が3枚のアケビ。果実が熟すと、割れて中が見えるようになる「開け実」が名前の由来です。春先の新芽は「木の芽」という山菜として親しまれています。お浸ししてうずらの生卵を落として味わうと最高です。



森では、初春から秋までたくさんの花に出会えます。

地図を片手に花ウォッチング！動物たちの食事のあとも見つけてみよう。

季節の花

花の見どころ一覧は裏面にあります！

7 ナニワズ
ジンチョウゲ科。黄色い小さな花を多数咲かせ、夏に赤い果実がつく。
2月中旬～3月下旬

8 キクザキイチゲ
キンポウゲ科。和名は菊のような花を咲かせる一輪草の意味。
3月下旬～4月中旬

9 オクチョウジザクラ
バラ科サクラ属。花は白色か淡い紅色。実は黒く熟す。
3月下旬～4月上旬

10 ショウジョウバカマ
ユリ科の多年草。花は淡い紅色から紫色。先端に横向きに花がつく。
3月下旬～4月中旬

11 ケキブシ
キブシ科。ほかの樹木の花が少ない時期に淡い黄色の小花を数十個下げる。
3月下旬～4月中旬

12 トキワイカリソウ
メギ科。白色の花が数個下向きに開く。小葉はゆがんだ卵形。
4月上旬～中旬

13 モミジイチゴ
バラ科。果実は黄色に熟して食べられ、「黄苺」の別名をもつ。
4月中旬～下旬

14 フジ
マメ科。淡い紫色、または白色の花を房状にたれて開花する。
4月下旬～5月中旬

15 オオイワカガミ
イワウメ科。淡い紅色の花が数個下向きにつく。ブナ林などに生える多年草。
4月下旬～5月上旬

16 タニツツギ
スイカズラ科。その開花時期から田植え花、早乙女花とも呼ばれる。
5月上旬～中旬

17 ミヤマガズミ
スイカズラ科。落葉低木。枝先に白い花を多数つけ、秋には赤い実がなる。
5月上旬～6月上旬

18 オオバギボシ
ユリ科。早春の若葉は山菜の「ウルリ」して親しまれている。
5月下旬～6月中旬

19 オカトラノオ
サクラソウ科。和名は長くのびた花の並び方をトラの尾にたとえたもの。
6月中旬～7月上旬

20 エゾアジサイ
ユキノシタ科。林間の沢などに自生するアジサイの一種。花は青紫色。
6月中旬～7月上旬

21 ヤマホタルブクロ
キキョウ科。茎にたれ下がるように花をつける。白花が多い。
6月下旬～8月中旬

22 オオバユリ
ユリ科。やぶや湿った林などに生える多年草。
7月上旬～下旬

23 ネムノキ
ネムノキ科。花は頭花序で、美しいうす紅色の長いおしべが特徴。
7月上旬～下旬

24 クルマユリ
ユリ科。葉が茎の中央で10枚ほど輪生することがこの名の由来となった。
7月上旬～下旬

25 ヒヨドリバナ
キク科。ヒヨドリが山から下りてきて鳴くころ咲くので、この名がついた。
7月上旬～8月上旬

26 ヤマユリ
ユリ科。日本産のユリ。花の大きさはユリ科の中でも最大級。
7月上旬～8月上旬

27 ノコンギク
キク科。日当たりのいい山野に見られる多年草。葉の形や花の色は多様ある。
9月上旬～10月下旬

28 リンドウ
リンドウ科。湿った山野に自生する。花はつりがね型で紫色、晴天の時に開く。
9月上旬～10月下旬